ミョウガ*1(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	茎葉	花穂	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	アザミウマ類	カイガラムシ類	ハスモンヨトウ	ハダニ類	ネコブセンチュウ
スピノエース顆水*2		☆	ｽﾋﾟﾉｼﾝ	5		1	2	◎				
	☆					*b		◎				
コロマイト乳*2		☆	ﾏｸﾛﾗｲﾄﾞ	6		1	2				◎	
	☆					*b					◎	
アタブロン乳*2		☆	ＩＧＲ	15		1	2			◎		
	☆					*b				◎		
カスケード乳*2		☆	ＩＧＲ	15		1	3			◎		
	☆					*b				◎		
ガードホープ液	☆	☆	殺線虫	1B	劇	*a	1					浸
ネマトリンエース粒	☆	☆	殺線虫	1B		*a	1					◎
サンマイトFL*2		☆	殺ダニ	21A	劇	1	2				◎	
	☆					*b					◎	
ダニトロンFL*2		☆	殺ダニ	21A		1	1				◎	
	☆					*b					◎	
マイトコーネFL*2		☆	殺ダニ	20D		1	1				◎	
	☆					*b					◎	
フェニックス顆水		☆	ｼﾞｱﾐﾄﾞ	28		1	3			◎		
	☆					*b				◎		
アクタラ顆溶*2		☆	ﾈｵﾆｺﾁﾉｲﾄﾞ	4A		1	3		コ			
	☆					*b			コ			
アドマイヤー顆水*2		☆	ﾈｵﾆｺﾁﾉｲﾄﾞ	4A	劇	1	2		◎			
	☆					*b			◎			
ダントツ溶*2		☆	ﾈｵﾆｺﾁﾉｲﾄﾞ	4A		1	3		ナ			
	☆					*b			ナ			
アグロスリン水*2		☆	ﾋﾟﾚｽﾛｲﾄﾞ	3A	劇	1	5	◎		◎		
	☆					*b		◎		◎		
アファーム乳*2		☆	ﾏｸﾛﾗｲﾄﾞ	6		1	2				◎	
	☆					*b					◎	
コテツFL*2		☆	他	13	劇	1	2				◎	
	☆					*b					◎	
モレスタン水*2		☆	他	UN		1	3				◎	
	☆					*b					◎	

*1:収穫利用する箇所が「茎葉」のものと「花穂」のものとで登録が異なる。☆で区別した。

*2:花穂の散布にあたっては、花穂の発生時にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用すること。

*a:定植前　*b:花穂の収穫前日まで(但し花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで)
コ:コナカイガラムシ類　ナ:ナスコナカイガラムシ
浸:30分間種根茎浸漬